

復興支援に取り組む地域団体等に伴走し、全国からの人材・資金・ノウハウといった様々な支援を効果的に結びつけるコーディネーター的な役割を担う組織として、昨年10月に開所

創造的復興推進課 076(225)1981

休眠預金を活用した資金支援

長期間取引のない預金等を民間の公益活動の促進等のために活用する制度

- ・ (一社)RCFが、まちづくりや生業再建への支援に取り組む地域団体等に活動費を助成
→補助上限1,500万円/年×10件程度を採択予定
- ・ センターは、地域団体等の掘り起こしや、採択団体の伴走支援等で連携

- 申請の前に必須となる事前登録（2/7締切）に33件が登録
- 地域の復興に取り組む地域団体や、伝統工芸の復興に向けた協議会などが、申請予定

COMPLEXの寄附金を活用した資金支援

- ・ 復興支援のため、企業等から県に寄せられる寄附金の受け皿として創設した能登復興応援基金を活用
- ・ センターが主体となり、事業を公募し、複数年支援

→公募テーマ

- ・ 漁業など能登の特色ある1次産業の再興
- ・ 能登が誇る伝統文化や地場産業の活性化
- ・ 子どもたちの心身の健やかな育成や、全世代的な学び、活動・交流の拠点づくり



- 具体的な公募内容は、令和7年度当初予算編成の中で検討中

スポットワークの活用による被災事業者の 人手不足の解消支援

- ・ 県、センター、(株)タイミーの3者による連携協定を締結 (R6.11)
- ・ タイミーが提供するスポットワークのマッチングサービスを活用
- ・ ILACや金融機関等とも連携し、能登にスポットワークの浸透を図る



- 能登6市町でセンターが呼びかけた事業者(飲食業や宿泊業など)において、新たに60回以上の募集があり、約半数がマッチング済
- 事業者向けのセミナーやお仕事相談会などを通じて、引き続き周知を図る

LINEヤフー(株)と連携した「プロボノ」支援

職業上の技術や経験を活かして、ボランティアで行う支援活動

- ・ センターとLINEヤフーはプロボノに関する基本合意書を締結 (「プロボ能登」プロジェクト) (R7.1)



- ・ センターが活動先の調整等を行いつつ、まずはLINEヤフーの社員が、ITや情報発信関係の分野を中心に能登でプロボノ支援(3年間で延べ300人規模の支援)

- 早ければ今月末頃からマッチングを実現
 - 支援の第1弾 (予定) : 「白米千枚田愛耕会」
 - ・ 千枚田の復旧過程をWebやSNSで情報発信 等
- 今後、センターとLINEヤフーで共同事務局を設置他の企業等にも参加を呼びかけ、支援の輪を拡大

〔能登半島地震の被災者向け〕

- 6,882戸 全て完成済み、豪雨による浸水被害も全て復旧済み

〔奥能登豪雨の被災者向け〕

- 286戸 全て着工済み（輪島市264戸、珠洲市22戸）
- 2月18日 輪島市で30戸、2月28日 珠洲市で22戸 を完成予定
- 残る輪島市の234戸については、3月末までの完成を目指す

2/18完成予定

門前第1団地（輪島市） 30戸



2/28完成予定

野々江町第8団地（珠洲市） 22戸



- 地震や豪雨の影響により、地元市町の食イベントや地域の祭り等が中止・規模縮小されている
- 地域の交流拠点であるのと里山空港で、様々な団体と連携し、能登の味覚を堪能できる食のイベントを開催（食をテーマとしたイベント開催は初めて）
→ 能登の大きな魅力である食の発信、地域の賑わい創出につなげる

能登まるごと味覚まつり

復興イベント～能登の味覚を堪能しよう～

日時：令和7年3月2日（日）10:00～15:00

- 企画：
- ・ カニやカキ等海の幸が入った能登まるごと鍋の提供（レストランあんのん）
 - ・ 各店舗が能登の味覚を堪能できる料理を提供（NOTOMORI）
 - ・ 能登が誇る地酒の提供（空港内売店、NOTOMORI）
 - ・ 屋外でのカキ等の炭火焼の提供
 - ・ 地元団体によるステージイベント（太鼓やダンスの披露）
 - ・ 金沢星稜大学との連携（お菓子づくり、子ども向け縁日 等）

※空港（レストランあんのん、売店）とNOTOMORIを周遊するスタンプラリーも実施！

